

ニュースレター 12月

2025. 12. 1発行



今日はリフォームプランは正月にありをお届けします。



リフォームのプランや計画を進める時に多いのが、予算の優先順位が夫婦で食い違ってしまうこと。そこで毎年お正月にやっておきたい我が家家のリフォーム計画の立て方と、時期タイミングを見逃さない方法を紹介します。



HPのお問合せはこちらから

1、家族の意見の不一致で、リフォームブルーになることも



リフォームのプランや計画を進める時、迷子になりやすいのが家族の意見に不一致がある時です。特に多いのが、どこにいくら掛けるか？という予算の優先順位が夫婦で食い違ってしまうこと。

よく見掛けるのが、リフォーム部位では妻はキッチン、夫は浴室に費用を掛けたい、内容では妻はデザイン、夫は品質にこだわりたいと言うものです。

これからずっと長く暮らす大切な我が家のことですし、大きな費用が掛かることですからどちらも真剣です。家族内で優先順位が食い違ったままリフォーム計画が進んでしまうと、コストダウンの内容を巡って、リフォーム業者との打ち合わせ中に夫婦で大ゲンカ！というケースもあります。

そして、リフォームの計画中に、もうやめたい、めんどくさい、どうしていいか分からず悩んで中断してしまったり、リフォームが終わっても満足できない、やらなければよかった……と悔やんでしまうような、リフォームブルーに陥ってしまうことがあるのです。

2、スムーズに進めるためには、事前に家族の意見をまとめておく



そこでお正月に家族が揃ったら、我が家家の現状とこれからについて全員でじっくり話し合いましょう。

まずは今の家への不満と希望をみんなで出し合って、箇条書きにまとめていきましょう。ひとつひとつていねいにあぶり出していくうちに、新しい我が家家の形がだんだん見えてきます。

その際は、家事ラクの視点を忘れずに。リフォームの主導権を持つ人が家事をしない人だと、いつの間にか家事が大変なプランになってしまっていることがあります。我が家を快適に健康的に保ち続けるためには家事ラクな家であることが必要です。

リフォーム計画をスムーズに進めるためには、家族の意見を先にまとめておくことが大切なポイント。家族みんなが居心地のいいリフォームを考えましょう。お正月が明けたらまとめたメモを持ってリフォーム業者に相談すれば、春にはリフレッシュした住まいでの新しい暮らしをスタートすることができますよ。

3、大掃除に自分で点検、年が明けたら業者に依頼



年末の大掃除の時には、普段動かさないタンスや畳の下から思わぬ発見があることもあります。

例えば、サッシががたついている、水栓から水が垂れている、使用していないコンセントがあった、外壁にヒビがあるなど気になる部分があったら、すかさずチェックしておきましょう。

大掃除は家の不具合を発見するよいチャンスです。お正月が明けたら、業者に家の定期点検を依頼し、大掃除で見つけた具合の悪い部分もまとめて見てもらうようにしましょう。大掃除の時にチェックしておきたいリフォームポイントはこれです。

大掃除にチェックしたいポイントです。

1.建具廻り

- ガラスの結露 ⇒ 本格的な冬が来る前に対策
- 網戸の破れ ⇒ 春までに対策
- サッシ・網戸のがたつき ⇒ 次のリフォームで対策
- 雨戸の腐食やがたつき ⇒ 早めの補修+交換なら台風シーズン前までに対策

2.室内廻り

- タンスの裏にコンセント ⇒ 使用しない+次の壁紙リフォームで対策
- 照明器具が切れやすい ⇒ できるだけ早めに対策(LED照明器具に交換)
- 照明器具の中に水がたまっている ⇒ 緊急に対策(電線を伝って雨漏りがしている可能性有)
- 和室の壁に黒いシミがある ⇒ 梅雨前までの乾燥した時期に対策
- 畳の裏にカビ、床下が湿気っぽい ⇒ できるだけ早めに対策

3.水廻り

- 換気扇から異音がする ⇒ できるだけ早めに対策
- 排水の流れが悪い ⇒ できるだけ早めに対策
- トイレの水が止まりにくい ⇒ 緊急に対策
- 浴室のコーティングが劣化している ⇒ できるだけ早めに対策

4、時期タイミングを見逃さないよう、我が家家のカルテを毎年確認する



リフォームには最適な時期、タイミングがあります。家は定期的な点検とメンテナンスによって腐食の進行を防ぎ結果家を長持ちさせることに繋がります。

このタイミングを逃してしまうと、大切な財産である家の価値を下げてしまうこともあります。

多いのが、時期は過ぎていたが表面がキレイなので安心していたら、内部の腐食が進んでいて補修に大きな費用が掛かった、もう少し早くやっていれば……と言うケースです。

リフォームのタイミングを逃さないためには、定期的な点検とメンテナンスを怠らないことがポイントなのですが、ついつい忘がち。そこで我が家家のカルテを作成、点検やメンテナンスの履歴を書き込んで、毎年お正月に必ず確認するようにすれば安心です。

5、住みながらのリフォームは、住んでいる人に負担が掛かる



リフォームのタイミングを計る時は、家族の状況をよく見極めることが必要です。

リフォームは早めに心がけることが、費用を節約して家を健康に保つポイントですが、住みながらのリフォームは住んでいる人に負担がかかります。

毎日複数の業者が家出入りをし、音やホコリも立ちます。留守にするのも気を使うなど、リフォームが終わった後、気疲れで3kg痩せたという声もよく聞きました。

受験生や病人がいる場合はその負担をよく考え、場合によってはリフォーム計画の延期や範囲の見直しなどを検討しましょう。

リフォーム工事中を快適に暮らすポイントは、業者と工事計画を綿密に打合せを行い、工事中も良好話し合いを行うと良いでしょう。工事中の鍵トラブルを防ぐ為にも、契約時に鍵と取扱いを決めておきましょう。

いかがでしたか？1年に1度、大掃除をする際に我が家家の点検も一緒に済ませておけば、これからもずっと安心して暮らしていくことができます。

・土
・建
木
築
・リ
・福
・工
・業
・社
・組

株式会社 渡辺組
本社 海津市海津町高須町720-1
0584-53-0174

E-mail:info@watanabegumi-kaizu.com
URL: http://www.watanabegumi-kaizu.com/



*毎月皆様の暮らしのお役立ち情報を届けています。
何かお気付きの事や知りたい事などございましたらいつでもご遠慮なく
お申し付け下さい。
皆様のご意見ご感想を元にお役に立てれば幸いです。